

| | | | |
|----------------|-------------|-----------|----------------|
| No.59 事業名 治山事業 | 23年度 予算額 | 10,292 千円 | 新規 拡大 継続 |
|----------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

地域住民の安心安全な生活確保のため、危険な状態にある人家裏山の法面工事等を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市内の危険箇所では山腹復旧工事を実施する。
また、流末水路工事を実施する。

(2) 事業期間

平成23年度（単年度毎に実施）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

県単補助治山 8,492千円（県2/3）
市単流末水路 1,800千円

3 23年度予算

(1) 23年度予算額

10,292千円

(2) 23年度事業内容

県単補助治山事業により赤石地区、但東町薬王寺地区で山腹復旧工事を実施。
また、市単独事業として、竹野町桑野本で流末水路工事を実施する。

担当課名【農林水産課】（内線 2355）

| | | | |
|--------------------|-------------|----------|----------------|
| No.60 事業名 松くい虫防除事業 | 23年度 予算額 | 6,463 千円 | 新規 拡大 継続 |
|--------------------|-------------|----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

松が持つ土砂災害の防止、保健休養の場の提供、景観形成といった多面的機能を維持、発揮できるように松くい虫による被害を防止又は軽減する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

第3次兵庫県松くい虫被害対策事業推進計画（平成19年4月1日～平成24年3月31日）により豊岡市の被害対策森林 A=1,782haの区域内において被害の多く見られる箇所を重点に、被害対策事業を毎年実施している。

1年当たり事業実施量

- ・ 予防事業（薬剤散布）
 - 地上散布（命令）豊岡市気比 4.0ha
 - 地上散布（単独）竹野町竹野、日高町栗栖野 8.3ha
 - 樹幹注入（単独）竹野町竹野 1.3ha（260本）
 - * 樹幹注入：5年毎に実施、前回H19年実施
- ・ 駆除事業（伐倒駆除）
 - 衛生伐A 日高町栗栖野 20 m³
 - 衛生伐B 豊岡市下宮、城崎町湯島、竹野町草飼 75 m³
 - 県単独景観伐倒 竹野町松本 5 m³

(2) 事業期間

平成17年度～

(3) 事業主体

豊岡市（北但東部森林組合へ業務委託）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

H17～H22年度 37,956千円

（補助率 地上散布（命令）10/10、衛生伐7/10、県単独1/2）

3 23年度予算

(1) 予算額

6,463千円

(2) 事業内容

- 予防事業（薬剤散布）
 - 地上散布（命令）豊岡市気比 4.0ha
 - 地上散布（単独）竹野町竹野 1.3ha、日高町栗栖野 7.0ha
 - 樹幹注入（単独）竹野町竹野 1.3ha（260本）
- 駆除事業（伐倒駆除）
 - 衛生伐A 日高町栗栖野 20 m³
 - 衛生伐B 豊岡市下宮 20 m³、城崎町湯島 20 m³、竹野町草飼 35 m³
 - 景観伐倒 竹野町松本 5 m³

担当課名【農林水産課】（内線 2393）

| | | | |
|--------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.6 1 事業名 混交林整備事業 | 23年度 予算額 | 29,230 千円 | 新規 拡大 継続 |
|--------------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

市内の森林において高齢人工林を部分伐採し、広葉樹等の植栽を行うことにより、災害に強い森づくりを進める。

また、平成24年度実施予定箇所分の調査も行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

スギ・ヒノキ等の高齢人工林を部分伐採し、跡地に広葉樹を植栽することで、森林の混交林化を図り、樹種・林齢の異なる水土保持能力の高い森林として整備する。

(2) 事業期間

平成23年度（単年度毎に実施）

(3) 事業主体

社団法人 兵庫みどり公社

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

29,230千円（県民緑税100%充当）

3 23年度予算

(1) 予算額

| | |
|-------------------|----------|
| 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業 | 27,000千円 |
| 平成24年度実施予定箇所の調査事業 | 1,379千円 |
| 上記事務費 | 851千円 |

(2) 事業内容

【針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業】

- ・事業箇所：豊岡市奥野字奥山167-10

事業内容

区域面積：12.5ha、作業道開設：延長L=900m、W=3.0m

植樹面積：2.9ha、樹種：ケヤキ、コナラ（植樹面積は、半々）

シカ防護柵の設置：L=1,500m、

- ・平成24年度実施予定箇所の調査事業（計画調査、設計費）

担当課名【農林水産課】（内線2391）

| | | | |
|----------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.6 2 事業名 緊急防災林整備事業 | 23年度 予算額 | 48,810 千円 | 新規 拡大 継続 |
|----------------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

治山施設等が未整備で人工林が大半を占める危険溪流の流域内の森林を対象として、斜面の防災機能強化のための間伐木を利用した簡易土留工の設置を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

計画面積 900ha

簡易土留工（間伐木を使った簡易な土留工の設置）

(2) 事業期間

平成 23 年度～平成 27 年度

(3) 事業主体

北但東部森林組合

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

244,050 千円（県民緑税 100% 充当）

3 23 年度予算

(1) 予算額

48,810 千円

(2) 事業内容

計画面積 180ha

簡易土留工（間伐木を使った簡易な土留工の設置）

| | | | |
|---------------------|-------------|--------|----------------|
| No.63 事業名 津居山かにタグ購入 | 23年度 予算額 | 935 千円 | 新規 拡大 継続 |
|---------------------|-------------|--------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

水産業振興事業として、豊岡市の地域ブランドである「津居山かに」のさらなる高級ブランド化及び販売促進を目指し、地域の活性化を促す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

「津居山かに」には、現在青色のタグが付いているが、「豊岡市」の名前が表記されていない。豊岡市は、コウノトリの野生復帰をシンボルに「コウノトリも住めるまちづくり」を進めており、環境への取り組みも全国的にも知られつつある。その知名度を活用し、かにのタグに「兵庫県豊岡市」、「コウノトリの写真」及び売り出し中の「玄さん」を掲載し、環境への配慮にこだわる兵庫県豊岡市からとれた「かに」というイメージで販売促進を図る。

なお、現在付けている青色のタグは引き続きすべてのかにに付けるとともに、豊岡市のデザインしたタグは、津居山かにの中でも高級なかにに付けることとする。

(2) 事業期間

平成23年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

935千円（津居山かにタグ購入費）

(2) 事業内容

地域ブランド「津居山かに」タグの購入

津居山かに漁船16隻に対して、1隻あたり3,000個提供。

（1隻あたり年間1万匹の漁獲の内の3割）

| | | | |
|---------------------|--------------|----------|----------------|
| No. 6 4 事業名 環境政策の推進 | 23 年度 予算額 | 1,085 千円 | 新規 拡大 継続 |
|---------------------|--------------|----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

コウノトリと共に生きるまちづくりを進めるため、市と市民や事業者がそれぞれの立場で、また相互に協力し合いながら環境への取り組みを市内で広げていく。

そのために、「コウノトリ野生復帰の取組み」を代表事例として、様々な分野で「コウノトリも住める環境づくり」の必要性を市民に理解していただき、市民参画・協働による環境都市「豊岡」を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①環境報告書の公表

平成 19 年度に環境基本計画を策定した。その進捗状況について、毎年環境報告書を公表する。

②市民への情報提供・啓発

環境基本計画で目指す「目標とする姿」を実現する取組みを掘り起こし、更なる取組みを促しながら、コウノトリも住める環境づくりを説明し、理解を得る。

③情報収集

市内での環境活動の取材、各関係機関からの情報収集

④豊岡市環境審議会の開催

(2) 事業期間

毎年

(3) 事業主体

豊岡市

3 23 年度予算

(1) 予算額

1,085 千円

(2) 事業内容

① 環境報告書の作成

② 市民への情報提供・啓発

- ・ 豊岡市環境活動報告会（仮称）の開催（新規）（272 千円）

環境報告書の公表に合わせて、市民の環境活動についての報告会を実施。
基調講演、活動報告、パネルディスカッション等

- ・ 環境報告書の配布

③ 環境審議会の開催（年 2 回）

- ##### ④ 循環型社会、地球温暖化防止などに関する各種セミナーやシンポジウム等への参加

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2346）

| | | | | | |
|-------|-----|---------------|-------------|-----------|----------------|
| No.65 | 事業名 | 太陽光発電システム導入補助 | 23年度 予算額 | 15,062 千円 | 新規 拡大 継続 |
|-------|-----|---------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

豊岡市では、環境基本計画、地域新エネルギービジョンの中で自然エネルギーの導入を柱のひとつとして位置づけ推進している。住宅への太陽光発電システムの設置にかかる費用の一部を補助することにより、市民の自然エネルギーの利用を促進し、地球温暖化防止に資することを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

太陽光発電システムの設置費用の一部を補助する制度

(2) 事業期間

平成 14 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

| | | |
|----------|--------|-------------------------|
| 平成 22 年度 | 12 月補正 | 15,000 千円（補助金分をゼロ市債を設定） |
| 平成 23 年度 | 当 初 | 15,062 千円（補助金及び事務費） |

(2) 事業内容

太陽光発電システム設置補助制度

対 象：個人住宅

補助額：1kw 当たり 5 万円、上限 4kw（20 万円）

4 その他参考事項

ゼロ市債事業として平成 22 年 12 月に補正を行い、23 年度分について 2 月 10 日から申請受付を開始する。

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2346）

| | | | |
|-----------------------|-------------|----------|----------------|
| No.66 事業名 コウノトリ野生復帰事業 | 23年度 予算額 | 3,038 千円 | 新規 拡大 継続 |
|-----------------------|-------------|----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰事業を通じて自然環境・文化環境を見つめ直し、新たな社会システムの構築を目指す本市の取組みは、国内外から評価を受け、地域づくりのモデルとなりつつある。その基盤をさらに強固にするとともに、取組みを拡大させていくための普及啓発を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①野生復帰推進事業

ニュースレター「FLY TO THE WILD」の定期発行、コウノトリKIDSクラブの運営など

②連携・交流事業

世界一田めになる学校 2011 への参画、生きものと人・共生の里を考えるシンポジウムへの参加

(2) 事業期間

平成 22 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 23 年度予算

(1) 予算額

3,038 千円

(2) 事業内容（抜粋）

①から コウノトリKIDSクラブの運営拡大（440 千円）

H22 年度に立ち上げた「コウノトリKIDSクラブ」（現会員 14 名）を追加募集し、拡大運営する。H23 年度は、「田んぼ」を年間テーマに、田植え、生きもの調査、生きものの逃げ場づくりなどに総合的に取り組む。

②から 世界一田めになる学校 2011（917 千円）

第 4 回コウノトリ未来・国際かいぎの「子ども・未来分科会」として開催した「世界一田めになる学校 in 東京大学」の好評を受け、続編を開催する。本事業は新潟県佐渡市、宮城県大崎市との連携事業であり、H23 年度は大崎市を事務局に共同開催する。コウノトリKIDSクラブからも参加予定。

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2342）

| | | | | | |
|-------|-----|----------------|-------------|----------|----------------|
| No.67 | 事業名 | コウノトリ知の集積・交流事業 | 23年度 予算額 | 2,164 千円 | 新規 拡大 継続 |
|-------|-----|----------------|-------------|----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰にかかる取組みを、科学的な裏付けを得ながら進展させていくため、知の集積・交流を積極的に展開する。得られた成果は広く発信し、共有を図ることで、豊岡を「知の集積・交流の拠点」とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①コウノトリ野生復帰学術研究奨励事業
- ②知の誘引事業

(2) 事業期間

平成16年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

2,164千円

(2) 事業内容

①学術研究奨励補助（1,579千円）

豊岡で研究を行う大学生・院生らに対し、宿泊費・交通費等の一部を助成する。

◆一般補助枠 500千円

個人：@100千円×3人、グループ：@200千円×1組

◆テーマ限定補助枠 450千円

（市が指定するテーマについて、補助額にプレミアムをつけて募集）

個人：@150千円×1人、グループ：@300千円×1組

②知の誘引事業（新規）（585千円）

研究フィールドとしての豊岡の価値を高めるため、大学の単位取得講座を誘引する仕組みを新設する。具体的には、豊岡での講座開設に必要な研究スタッフの旅費や必要経費の一部をサポートする（上限500千円）。

H23年度は、前年度で事業年度を終えた「日本・アジア SATOYAMA 教育イニシアティブ」（東京大学・国連大学高等研究所・豊岡市3者連携事業）を、東京大学単独の講座という形で継続する。地域でのワークショップ開催、研究成果の提供等を含め市と東京大学が協定を結び、田結の湿地を中心にフィールド演習講座を実施する。

担当課名【コウノトリ共生課】（内線2342）

| | | | | |
|-------|---------------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.68 | 事業名 コウノトリ生息地保全対策 事業 | 23年度 予算額 | 14,585 千円 | 新規 拡大 継続 |
|-------|---------------------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

コウノトリの生息地保全を柱に、さまざまな環境活動団体が連携できる組織づくり、継続的な事業展開が可能な仕組みづくり、外部団体とのネットワーク形成、市民への普及啓発、環境教育の充実などの基盤整備に取り組んでいる。環境省の補助金やコウノトリ基金などの財源を活用しながら、豊岡の地に根づくシステムの構築を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①コウノトリ生息地保全協議会事業
- ②コウノトリ基金活用事業

(2) 事業期間

平成20年度～

(3) 事業主体

豊岡市・コウノトリ生息地保全協議会（市も構成員。負担金拠出）

3 23年度予算

(1) 予算額

- ①コウノトリ生息地保全協議会事業 4,000 千円
- ②コウノトリ基金活用事業 10,585 千円 計 14,585 千円

(2) 事業内容

①コウノトリ生息地保全協議会事業（4,000 千円）

（環境省「生物多様性保全推進支援事業」申請。H23年度全体事業費10,000千円のうち、国：5,000千円、市：4,000千円、他団体等：1,000千円）

- ・生物多様性保全に関する取組み
- ・ラムサール条約湿地登録に向けた取組み
- ・企業CSRを活用した生息地保全の取組み
- ・市民の協働を促すボランティアの日「生きもの応援デー」の設定（年数回）
（新規） など

②コウノトリ基金活用事業（10,585 千円）

- ・ビオトープ水田の設置管理（@27千円/10a×1,500a=4,050千円）
- ・大規模湿地の維持管理技術研究
（戸島@30千円/10a×300a=900千円、加陽@30千円/10a×500a=1,500千円）
- ・生物モニタリング調査（3,000千円）
- ・小さな市民活動支援助成事業（新規）（800千円）

地域の生物多様性保全に目を向けた市民活動を後押しする仕組みを新設する。

- ◆小さな市民活動への助成（ちょっと助成）10～50千円/件（上限400千円）
- ◆団体・グループ等への活動助成（しっかり助成）上限200千円×2件

担当課名【コウノトリ共生課】（内線2342）